

ときめき人

Tokimeki bito



美しい自然を 継承したい はすまつり初の 女性船頭

中田町・舟場

猪又 しのさん

いのまた しの
1983年生まれ 血液型/A型

Profile

佐沼高を卒業後、会社員などを経て5年前に「BEER BAR FILLMORE」をオープン。オーナーを務める傍ら、今年から船頭として長沼を案内する。趣味はビールを飲むこと。(右)船頭として小舟を運転しながら案内する猪又さん。



「これだけの数のハスが群生している場所は、全国でもなかなかありません。希少で魅力的な場所だということも、船頭としてたくさんの人に伝えていきたい」と力強く話す猪又さん。

猪又さんは、18回目の開催を迎えた「長沼はすまつり」で、女性として初めての船頭を務める。始めたきっかけは、自らがオーナーを務めるバーに来ていた友人から、父が船頭をしていると聞いたことだった。海が好きだった猪又さんは、船舶免許を持っていたこともあり、その場で立候補した。

はすまつりには、関東や関西といった遠方から訪れる人が多い。専門的な観光の知識が求められることに加え、船の運転は約6年ぶりと不安も多かったが、参加が決まってからは先輩らのアドバ

イスに耳を傾け、船の操作方法や船上でのトークなど、仕事の合間を見つけて勉強した。

船頭長の星義昭さんは「何事にも一生懸命で、立派に働いてくれている。しのちゃんがお客さんから感謝の手紙を一番多くもらっているんじゃないかな」と顔をほころばせる。

「運転や知識など、まだまだ未熟ですが、このまちの自然や文化を大切に残していけるよう自分にできることをして、生まれ育った町に恩返しをしていきたい。若い人にも、こういった地域の活動や行事へ積極的に参加してもらい、みんなの力でまちを盛り上げていけたら」。

船頭とバーのオーナー。昼夜を問わず、地元の良さを伝え続ける。

編集後記

▼「夏に挑む」で小中高生を取材。彼らに共通していたのは努力の継続。やはり勝利への近道はないのだろうかと感じました。夏が終わり、今後とも挑戦を続ける人と、引退して新しい道に進む人がいると思いますが、それぞれの舞台での活躍を願っています。(高橋)

▼夏休みの宿題を最終日まで残しておくタイプだった私は、広報紙の原稿も毎回ぎりぎりに。余裕を持って行動することの大切さは、年齢を重ねるごとに重みが増しますが、習慣はなかなか変えられません。反面教師として今の子どもたちが、こうはならないように祈っています。(三浦)

▼「○○の秋」といえば、食欲の秋。秋に食欲が増すのは、新米や旬の農産物がたくさん出回ることや冬を乗り切るために脂肪を蓄えようとする本能が関係しています。本能に逆らわず、食べ過ぎたらスポーツ、疲れたら家で読書をして、今年は味覚以外の秋も味わいたいと思います。(小野寺)



登米市メール配信サービス

(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。)

<https://mail.cous.jp/tomecity/>